

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第 150 回放送の概要 (2019 年 10 月 26 日放送)

## パーソナリティ

たろう

(佃 由晃)

なか

(中嶋邦弘)

くらら

(河野真紀)

あきこ

(村上明貴子)



## ミキサー

門ちゃん

(門田成延)

かりん

(妹尾優香)

会計

小山俊則

相談役

わたかん

(和田幹司)

## 1. ゲストコーナー (1) 公益社団法人 日本警察犬協会 公認訓練所 ドッグサポート ランティス 代表の大畑嘉子さん (64 陽会)

大畑さんは浜山小学校、吉田中学、兵庫高校。兵庫高校では茶道部。高校時代は笑っていたイメージしか残っていない。本日同席の 2 人の茶道部員と今も一緒に遊んでいる。岩崎さんは大畑さんが男女関わらず人気者であったことを覚えている。石田さんも大畑さんが来ると更に楽しかったという思い出しか残っていない。その後愛知学院大学商学部に進み、卒業後すぐに結婚した。ご主人が静岡出身で静岡で生活をした。

阪神大震災時は静岡在住で、朝テレビをつけた途端神戸で大変なことが起きていると言っていた。静止画のみで実家に電話しても繋がらず、静岡は地震の警戒はしていたが、神戸で大地震は予想していなかった。神戸を訪ねたのは子供の春休みの時で家族全員で来た。祖母と両親は無事で、岬公園の近くで食堂をしており、家も無事で自宅で避難生活をしていた。食堂のため食料もあり、隣人がストーブを持ってきてくれたり、水はボランティアが運んでくれた。子供は浜山小学校でボランティアの手伝いをし、いい経験をした。

母親が 5 年前に脳出血で倒れ、神戸の病院に通っていたが大変だったので静岡に引き取った。食欲がなくなって元気がなくなった。あまり長くないなら近所の人に会える、母親の兄弟のいる神戸に戻ってくると減茶苦茶元気になった。左半身不随のため一日中誰かの介護が必要のため、今大畑さんは神戸に在住で、静岡に用事がある時のみ帰っている。家族が神戸と静岡を行き来している。

元々猫は好きで犬は嫌いだった。ご主人が神経質な人で家で猫を飼うことに反対した。息子は動物が好

きでハムスターや亀を飼っていた。息子が世話をするから犬を飼いたいと言い、シェパードをもらってきた。元の飼い主は展覧会用の犬を作っており、家で繁殖した時 10 頭ほどの犬が生まれるが、展覧会に出せるかどうかは、骨格、歯など生後半年ほどで決まるので、見込みのない犬は誰かに引き取ってもらったり、売ったりする。ミカン箱の 2 倍ほどの箱を持ってもらいに行くと、3 か月の子犬にも関わらず柴犬の 2 倍ほどに成長していた。夜中に箱の中から飛び出し大騒ぎになった。

4 か月ほどで 40 kg になり、息子は中学になると家にあまりいなくなり、大畑さんが散歩に連れていくと、近所の人から乗っていった方が速いのではと言われ、公園に行くと小さな女の子が「ママあれいぬちち（イノシシ）だよ」と言われ、餌を与えすぎたこともあり言うことを聞かないので訓練士を探した。通いの訓練士に半年間の訓練を頼んでいたが、4 か月経つと教えることは何も無いと言って来なくなった。4 歳になった時大畑さんが訓練士になるきっかけになった今の師匠の訓練士に出会った。その人は教室で 5 頭ほどを飼い主と一緒に訓練していた。教室に通いだして大畑さんの犬はどんどんよくなった。展覧会用の犬は血統のいい犬を掛け合わせるので短命や奇形が出ることもあり、最初の飼い犬のランティスも短命で 4 歳でぽっくり死んだ。次は柴犬にしようと思ったが、教室の先生に相談すると柴犬はいないと言われ、それならいらぬと言った時、その場に来ていた協会の偉い人が、さみしいやろうから 1 匹持っていったらと言って犬小屋と一緒に車に強引に積み込まれた。取りあえず 1 週間持って帰れと言われ、その後返しに行くと犬がさみしそうな顔をした。子どもたちにも慣れて情が移っていたので、その犬を飼うことにし教室にも通った。

その犬はどんどん実力をつけ、警察犬の資格を取るための色んな試験をクリアし、大畑さんを警察犬訓練士になるよう導いてくれた。犬がどんどん良くなってきたある日、子どもも高校生、中学生になり手が離れた時で、先生から土日教室のお茶を出すだけでいいので手伝ってほしいと言われた。大型犬が流行っていたころでその教室はシェパード、ゴールデン、ラブ、シェパードがおり 4 隅に離して置いていた。ケンカしないようその間に立っていて下さいと言われた。犬がウーと唸り声を出すと先生はかわいらしい声で「いけない」と言うと静かになる。とても格好いいと思った。先生は細くてきれいでファッションブルな服装であるが、腕を食いちぎるくらい凶暴な犬も訓練できる人であった。この先生に出来るなら大畑さんも訓練についていけるのではと思った。前の訓練士は大きくて太ったレスラーのような人で、犬を力任せに抑え込める人であった。言うことを聞かない時はチェーンで鼻のところを殴ってくれと教えられた。チェーンで殴ろうとしたが犬は素直に殴られることはなく、自分の足に当たってしまった。



大畑さん（左）と訓練士の師匠（右）

訓練を重ねることで犬がどんどん良くなり、審査員の偉い先生や協会の人から、教室で教えているし、警察官の仕事を手伝う嘱託試験もとったのでプロになるしかないやろと言われた。そのような人達が推薦人になり東京上野の警察犬協会に試験を受けた。子どもの頃からパーパーテストは得意で、99.8 点は今までの最高点と言われた。



警察犬の訓練は「服従」「警戒」「臭気選別」「足跡追及」があり、「服従」は言うことを利かすためのもので、座れと言われると瞬時に座り、解除しない限り座り続けるといけない、人の言うことを聞かないという飼い主は解除しないから。全国大会でトップになるような犬は100点からの減点法で99.8点をとる。伏せて待ての場合、指導手が隠れてもじっとしていなければならない。「警戒」は犯人を凝視していなければならない。指導手の方をちょっとでも見ると減点になる。犯人が抵抗してくると噛んでもよい。噛んだ場合絶対離してはならない。振り回され殴られても離してはいけない。犯人が抵抗を止め指導手が止めと言った途端ぱっと離す。犯人が動くと吠えて噛んでもよい。しかしよそ見してはダメ。離れた時もじっと見ていなければいけない。「物品看守」は前に置いたスーツケースを守れと命令する。犯人がちょっとでも手を出したり寄ってくると噛む。手を出すと噛んでもよい。鼻事（匂い）には「選別」と「足跡追及」があり、「選別」は裁判の証拠品になる。5つの匂いを作る。ビニールの中に無臭の布と犯人の靴下を入れ2時間経つと匂いが移る。同じようにしてシャツの匂いをとる。靴下を5つ並べ、犯人の匂いをシャツからとったものを犬に嗅がせ、靴下の同じ匂いをとってこさせる。冤罪を防ぐためにゼロ回答という訓練があり、匂いを嗅いで何も持たずに戻ってこなければいけない。行方不明の人を追いかける「足跡追及」は犬に任せるのが大事。警察官から見ると行くはずがないと思うようなところを探す。



静岡新聞 2007年11月20日掲載



静岡新聞 2007年12月22日



以前静岡でお爺さんが行方不明になり裕福な家庭でヘリコプターまで出して大々的に搜索したが見つからず、足跡追及の依頼があった。犬はどんどん進み側溝の中に入って行き、T字路のところでお爺さんが丸くなって挟まっていた。子供が2人いなくなった別のケースでは、いなくなった山から探しに行った。警察官にここまでは搜索済みのという場所に案内してもらい、その先は子供の靴下の匂いを探させるとフェンスの向こう側に行こうとした。警官はその方向は道ではないから探す必要はないと言った。犬の動きに従いフェンスをくぐって探した。しばらくすると子供が見つかったという連絡が入り、経路を聞くとフェンスをくぐって下に降りたが途中で嫌になり泣いているところを保護されたということがあった。自殺した人もフェンスの向こうで亡くなっていた。犬の射程距離は半径2kmと言われておりその範囲に人がおれば発見できる。亡くなっておれば更によくわかる。搜索のスタートポイントを誤らなければ結構な成績は出せる。

行方不明者の搜索を警察犬を使ってほしいと警察に依頼できるかについて、山の場合は個人的に頼むことは出来るが伝手がないと難しい。まず警察を頼って犬を出してほしいと頼む交渉をするしかない。警察官によっては気軽に出してもらえる。兵庫県はいい警察犬がいる。料金が発生する場合がある。

## 2. ミュージック：たかとり救援基地復興隊 「夢光る町神戸を」

### 3. ゲストコーナー(2)

犬は匂からどのような情報を得ているかについて、香水や消臭剤で犬を誤魔化せるのではと言われるが、そうではない。足跡の匂いからこの人は若くて痩せていて気性の強い人とか、ちょっと女ポイとか人間が目で感じるような沢山の情報が匂いに入っている。公園で匂いを嗅いでいるのは他の犬の匂いで、この匂いから若くてきれいないい犬とか、この犬なら勝るとか、など多くの情報量が入っている。人間の2万倍とか4万倍とかと言われるが、匂いの強さではなく匂いに含まれる多くの情報を得ている。

猫と犬の違いは、猫は嫌だと思ったことに対しては、決して言うことをきかない。犬は集団で生きているので、自分がリーダーと決めた犬や人に対しては嫌なことを命令されても従う。犬にとってのリーダーは、ただ好きというだけでなく、人間が神を崇めるように、大好きや尊敬また恐れ多い怖さを持っている存在である。それがいいリーダーである。猫は集団で行動するのではなく、言うことも聞かず、猫について来いというのは無理がある。猫は集団でも発情期は重ならず、一方犬はだんだん重なってくる。大畑さんは猫はべろべろくっついてこないで猫が好きである。猫をかわいがってその後犬に移っても、犬とは信頼関係が出来ているので、この匂いはい何かと嗅ぎたがるが、やめてと言うとひつこく嗅ぐことはない。服従が出来ているかどうかによる。

今は母親の介護をしているので、犬の競技会や搜索活動に行っている時、母親から帰って来てと電話があるので犬の訓練はしていない。いじめられっ子が家に帰って来て、犬をギュッと抱きしめて毎日泣かれると、このような不安な気持ちで抱きしめられた犬は精神的に不安になり、噛む犬になる。セラピードッグは人間の不安な気持ちを受け入れられるおおらかな犬である。人間も集団で生きている動物で、人間もお母さんが毎日泣いて子供を抱きしめると、子供はとてつらい不安な気持ちの子になる。

大畑さんは神戸市男女協同参画推進員の活動をされている。昨年男女協同参画のセミナーがあり、応募用紙に作文を書く必要があり、ダメと思ったが採用された。セミナーは面白く、LGBT、性暴力、パワハラ、セクハラ、などについて朝の10時から夕方4時まで講師から話を聞いた。以外に面白いと思いその後の会合に参加し、最後にグループごとの研究発表が12月に行われ、大畑さんグループは最終選考で選ばれ、3月に事業を立ち上げた。研究発表の時に大畑さんは班長になり、班長として気をつけたことは、すべてのメンバーの意見を聞き取ることで作り上げたプロジェクトで、他のグループも華々しく頑張っていたが、予想外に選ばれ、事業「地域で活躍する女性リーダーを増やそう！！」を立ち上げ、朗読劇「それは女のすることちゃうやろって、ホンマなん？」を発表した。内容は自治会の役員を決める時の話で、会長が「のどが渇いたから誰かお茶を持ってきて」と言うと、女の人が持ってくる。ぬるいとか文句をたらたら言われ、次の自治会長は男の人は誰もなってくれないので女性を推薦すると「女はあかんやろ」と言う。その人が家に帰りお爺さんお婆あさんに相談すると止めといて、女のくせに出しゃばらんといてと言われる内容で問題提起をした。朗読劇の後実際に女性自治会長になった3人と一般の参加者とのディスカッションをした。その時のコーディネーターが小川真知子さん（NPO法人SEANの理事長）で、問題提起をしてもらった。今までの勉強会で一番良かったと言ってもらえた。

今年はメンバーが27人いるので令和元年度の事業として2つの事業を行う予定で、第1回目の事業が明日10月27日に「自分らしく生きるヒント 無意識の壁をとっばらう」というテーマで、あすてっぴ KOBE2階のセミナー室で14時～16時に開催される。無意識の壁は例えばAさんから相談を受けました。Aさんは保育士です。パートナーはトラックの運転手、結婚前は育児も家事も手伝うと言っていました。いざ子供が生まれると何もせず、話し合いをしても仕事が忙しいと言い、離婚も考えている。このような状況にあなたはどういうアドバイスをしますかとみなさんに問いかける。多くの人はAさんは女性で一人で子育てしているイメージを基に、離婚する前に話し合いをしよう、離婚してしまえなどいろんな意見が出る。Aさんは女性と明確にされていないので、男性かも知れない。多くの人はAさんを女性と決めてしまうことが無意識の壁となっている。保育士は女性で子育ては女性、仕事が忙しいのは男性、育児より仕事を優先するのは男性と思い込んでいる。これはおかしいと思い、考え方を変えていく必要がある。大畑さんの娘さんは、結婚には夢も希望もないと言っているのだから、このような観点で話し合いたいと思っている。これから子育てをしていく人たちが生きていきやすい社会になっていけばいいですね。

#### **4. こぼれた話こぼれなかった話：島田叡さん荒井退蔵さんの映画が製作されます！**

(1) みなさん、ビッグニュースです！

母校兵庫高校の戦前神戸二中の大先輩、戦中最後の沖縄県知事だった島田叡さんのことを語り継いでいますね。戦地だった沖縄、島田さんの出身地兵庫、沖縄で同じく奮闘された荒井警察部長さんの栃木、この3県を中心に顕彰と交流活動が続けられています。

(2) 記憶に新しいのは、6年前のTBSドラマ『生きる～戦場に残した伝言～』の放映、4年前には兵庫・沖縄友愛戦後70年記念事業で県民交流団として沖縄行き、同じ年NHK・BSで『英雄たちの選択 “命どう宝・沖縄県知事島田叡からの伝言”』放映、また3年前にはTBSが『70年目の島守』を放送しました。

(3) で、この度、3県の地元マスコミなどが協力して、沖縄戦を描いた映画『島守の塔』の製作が決まりました。兵庫県の神戸新聞・サンテレビ、沖縄県の琉球新報社・沖縄タイムズ社、栃木県の下野新聞社の協力で製作委員会が発足しました。



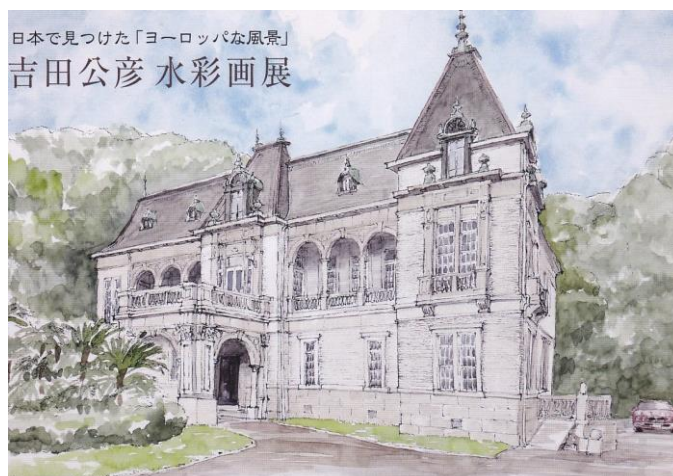
委員長には沖縄県の元副知事嘉数昇明さん、監督には五十嵐匠さん、脚本は柏田道夫さんで、キャスティングはこれからです。映画は2020年来年秋の予定です。

- (4) 2人の英雄を主役に、沖縄県民の目線で空襲、艦砲射撃、激烈市街戦、逃避行で20万人以上の犠牲者を出した実像に迫ります。

完成後、映画館での上映やサンテレビでの放映、DVD化が考えられているでしょう。3県の各県の高校等で若い人たちにも見ていただきたいのでDVD全校配布もいいですね。楽しみです。

## 5. 地域瓦版

- 10月27日(日) 兵庫高校同窓生のホームカミングデー開催、10時～15時。  
場所は武揚・ゆ〜かり館。神戸二中、県四高女、兵庫高校卒業生はどなたでもご参加ください。  
10時半から山本理貴さん(102陽会)のヒューマンビートボックス  
13時半から『未来社会を創造するグローバルリーダー育成をめざして～創造科学科の取り組みを中心として～』SGH推進委員長 大前吉史先生(69陽会)の特別講演。  
校内ツアーや校内食堂をお楽しみ下さい。
- 11月19日(火)～21日(日)、吉田公彦さん(57陽会)の水彩画展が北野坂のダイヤモンドギャラリーで開催されます。



放送音声は、FMYYのHPおよび「ゆ〜かりに乾杯」のHPで視聴いただけます。

<https://tcc117.jp/fmyy/?cat=51>

[http:// yukari-ni-kanpai.sakura.ne.jp/](http://yukari-ni-kanpai.sakura.ne.jp/)